

兵庫県防衛協会 顧問

平成28年新春メッセージ ～兵庫創生に挑む～

新年あけましておめでとうございます。

国内では急速な人口減少・少子高齢化、世界では地域紛争が激化する一方で、国境を超えた経済の一体化が進展しています。内外とも変化の激しい今、兵庫においても、新たな発展の枠組みが求められています。

昨秋、本県は、5年間の地域創生戦略を策定しました。今後50年で100万人以上の人口減少が見込まれます。少子化と高齢化も年々進行します。その中でも兵庫が活力を保ち、将来への希望を持てる地域を目指さねばなりません。それだけに、地域の多様な資源を最大限に活用して、ふるさと兵庫を愛する人々とともに、「安全安心で元氣なふるさと兵庫」を創らねばなりません。

第一は、安全安心の確保。安全こそが県民生活と社会経済活動の基です。ハード・ソフト両面から防災・減災対策を進め、危機に強い地域を創ります。また、医療、福祉の更なる充実により、安心して暮らし続けられる体制を整えます。

第二は、多彩な人材が活躍できる社会づくり。女性、若者、高齢者、障害者の一層の社会参加を促します。そのためにも、子育て環境の整備や、個性を伸ばす教育に努め、県民一人ひとりの自己実現を目指します。

第三は、活力あふれる地域づくり。科学技術基盤を活かした新産業の創出、大都市近郊を活かす農林水産業の確立など、産業の競争力強化に取り組みます。また、高速道路網の整備、広域観光圏の形成などにより、内外との交流の拡大につなげます。

未来は、私たちの手で変えられる。

そのため、戦略では、自然増や社会増対策を行うとともに、人口が減る中でも実質的な経済成長を実現するという目標を掲げました。地域、地域の持つ多様な資源を活かしつつ、兵庫としてのまとまりを発揮する「多様性と連携」を基本に、皆さんと共に挑みます。「兵庫創生」に向けて、さあスタートを切りましょう。

各地域 資源を活かし連携し めざすは兵庫の新しい展開

兵庫県防衛協会 会長

平素は当協会の活動に対しご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、現下の世界の安全保障環境は、ロシアによるウクライナへの軍事介入、シリアによるテロの脅威の拡大など多様な事態が生起し、大きく変化しつつあります。我が国周辺では北朝鮮によるミサイル問題をはじめ、中国による尖閣諸島周辺に航空域での領海・領空侵犯に加え、ロシアによる侵犯活動も活発化しており、我が国を取り巻く環境は厳しさを増しております。さらに昨年、国会で安全保障関連法案が可決され、今後自衛隊の活動の多様化が予想されます。一昨年の、広島豪雨災害、御嶽山の噴火災害に続き、昨年は鬼怒川で豪雨災害が発生しました。また、近い将来発生が予測される南海トラフ巨大地震への対応等、様々な課題が山積みです。そのような状況の中で、自衛隊に対する国民の期待と信頼は日々高まってきております。我々兵庫県防衛協会は、防衛思想の普及・高揚に尽力し、自衛隊の良き理解者として自衛隊に対する支援・協力活動を一層充実させていきたいと考えます。併せて、隊員の皆さんが我が国の安全を守るという重大な責務を全うできる環境作りを積極的に進めて参らなければなりません。最後に当会の益々の発展と、皆様のご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

我々が国周辺では北朝鮮によるミサイル問題をはじめ、中国による尖閣諸島周辺に航空域での領海・領空侵犯に加え、ロシアによる侵犯活動も活発化しており、我が国を取り巻く環境は厳しさを増しております。さらに昨年、国会で安全保障関連法案が可決され、今後自衛隊の活動の多様化が予想されます。一昨年の、広島豪雨災害、御嶽山の噴火災害に続き、昨年は鬼怒川で豪雨災害が発生しました。また、近い将来発生が予測される南海トラフ巨大地震への対応等、様々な課題が山積みです。そのような状況の中で、自衛隊に対する国民の期待と信頼は日々高まってきております。我々兵庫県防衛協会は、防衛思想の普及・高揚に尽力し、自衛隊の良き理解者として自衛隊に対する支援・協力活動を一層充実させていきたいと考えます。併せて、隊員の皆さんが我が国の安全を守るという重大な責務を全うできる環境作りを積極的に進めて参らなければなりません。最後に当会の益々の発展と、皆様のご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

防衛省 自衛隊

兵庫県防衛協会の皆様、新年明けましておめでとうございます。平素より防衛省・自衛隊の活動に對しまして深くご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、わが国を取り巻く安全環境、特に東アジアを取り巻く環境は年々厳しさを増していると言えます。力により現状変更を試みようとする中国は大きな不安定要素として注視すべきはもろろんですが、近年その軍力近代化を強力に推進し活動を活性化させるロシアの動きはあらためて警戒が必要です。また、核の小型化や弾道ミサイル開発を依然として推し進めている北朝鮮を含み、我が国はこのような緊張感を要する国々に囲まれていることを忘れてはならないと思います。さらに、国際テロリズムへの対応、南海トラフ巨大地震などへの対応は失敗が許されません。このような厳しい安全保障環境の中、そして国民の皆様のご期待が高まる中、昨年は安全保障法制が整備されました。自衛隊は、いつ何なる状況においても速やかに出動できるよう即応態勢を整えております。そして如何なる厳しい任務をも遂行し得るよう厳しい訓練に励んでいるところでもあります。しかしながら自衛隊は自衛隊のみで任務を遂行することはできません。自治体の方々、防衛協会の皆様をはじめとする協力諸団体のお力添えあつてのオペレーションとなります。兵庫地方協力本部といたしましても、皆様との絆を大切にしながら、明日の日本の平和を担う人材の確保に努めてまいります。どうか本年もご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に新年が皆様にとりまして輝かしい年になりますことをお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

兵庫県防衛協会の皆様、新年明けましておめでとうございます。平素より防衛省・自衛隊の活動に對しまして深くご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、わが国を取り巻く安全環境、特に東アジアを取り巻く環境は年々厳しさを増していると言えます。力により現状変更を試みようとする中国は大きな不安定要素として注視すべきはもろろんですが、近年その軍力近代化を強力に推進し活動を活性化させるロシアの動きはあらためて警戒が必要です。また、核の小型化や弾道ミサイル開発を依然として推し進めている北朝鮮を含み、我が国はこのような緊張感を要する国々に囲まれていることを忘れてはならないと思います。さらに、国際テロリズムへの対応、南海トラフ巨大地震などへの対応は失敗が許されません。このような厳しい安全保障環境の中、そして国民の皆様のご期待が高まる中、昨年は安全保障法制が整備されました。自衛隊は、いつ何なる状況においても速やかに出動できるよう即応態勢を整えております。そして如何なる厳しい任務をも遂行し得るよう厳しい訓練に励んでいるところでもあります。しかしながら自衛隊は自衛隊のみで任務を遂行することはできません。自治体の方々、防衛協会の皆様をはじめとする協力諸団体のお力添えあつてのオペレーションとなります。兵庫地方協力本部といたしましても、皆様との絆を大切にしながら、明日の日本の平和を担う人材の確保に努めてまいります。どうか本年もご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に新年が皆様にとりまして輝かしい年になりますことをお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

防衛兵庫

- ① 年頭の辞
- ② 中部方面隊創隊55周年記念行事参加
- ③ 各支部等の活動
- ④ 兵庫地方協力本部だより



兵庫県知事 井ノ敏三

発行 兵庫県防衛協会 電話 078-261-9780 印刷コベルコビジネスサポート

謹賀新年

輝かしい新春を迎え、謹んで皆様のご清福をおよろこび申し上げます。本年も引き続きご愛読いただきますようお願い申し上げます。



川崎重工株式会社 相談役 大橋 忠晴

年頭の辞
新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましてはご家族ともども健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。



自衛隊兵庫地方協力本部長 とうりうみ せいじ 鳥海 誠司

新春のご挨拶
兵庫県防衛協会の皆様、新年明けましておめでとうございます。平素より防衛省・自衛隊の活動に對しまして深くご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、わが国を取り巻く安全環境、特に東アジアを取り巻く環境は年々厳しさを増していると言えます。力により現状変更を試みようとする中国は大きな不安定要素として注視すべきはもろろんですが、近年その軍力近代化を強力に推進し活動を活性化させるロシアの動きはあらためて警戒が必要です。また、核の小型化や弾道ミサイル開発を依然として推し進めている北朝鮮を含み、我が国はこのような緊張感を要する国々に囲まれていることを忘れてはならないと思います。さらに、国際テロリズムへの対応、南海トラフ巨大地震などへの対応は失敗が許されません。このような厳しい安全保障環境の中、そして国民の皆様のご期待が高まる中、昨年は安全保障法制が整備されました。自衛隊は、いつ何なる状況においても速やかに出動できるよう即応態勢を整えております。そして如何なる厳しい任務をも遂行し得るよう厳しい訓練に励んでいるところでもあります。しかしながら自衛隊は自衛隊のみで任務を遂行することはできません。自治体の方々、防衛協会の皆様をはじめとする協力諸団体のお力添えあつてのオペレーションとなります。兵庫地方協力本部といたしましても、皆様との絆を大切にしながら、明日の日本の平和を担う人材の確保に努めてまいります。どうか本年もご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に新年が皆様にとりまして輝かしい年になりますことをお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

中部方面隊創隊55周年記念行事参加

9月13日、兵庫県防衛協会は陸上自衛隊伊丹駐屯地（伊丹市）において実施された「中部方面隊創隊55周年記念行事」に共催した。

当日は晴天に恵まれ防衛協会の会員を含め1万5千人の来場者で賑わった。行事は、感謝状の贈呈式や記念式典、訓練展示（模擬戦）などが行われた。

感謝状の贈呈式では、中部方面総監の鈴木陸将より、自衛隊への多大なる協力により、兵庫県防衛協会から就職援護功労として神戸製鋼所が、予備自衛官等雇用功労として第一運輸作業株式会社及び日本安全警備株式会社に感謝状が贈られた。

記念式典では、観閲部隊指揮官（第3師団副師団長）の指揮のもと、一糸乱れぬ統制の取れた姿を

披露した。

記念式典に引き続き、観閲行進が行われ人員役900名、車両約140両、航空機9機が参加し迫力ある行進が行われた。訓練展示では、隊員約160名、74式戦車、野戦砲FH70など多数が参加して、空砲射撃など実戦さながらに行われ、隊員のきびきびとした動作を見て錬度の高さを感ずることができた。



会長のメッセージを読み上げる田中事務局長



鈴木副会長が参加した鏡開き

を行い、「中部方面隊を、我々、各府県防衛協会が連携を緊密にし、自衛隊の活動がより良いものになるように更なる努力を行っていく必要があると考えるところであります。」と会長のメッセージを読み上げた。引き続き各団体の代表者による鏡開きが行われ、兵庫県防衛協会から鈴木副会長が協会を代表して参加し兵庫方面隊協会の存在感を大いに示した。その後祝賀会では自衛隊の主要幹部らと日本の防衛について語り合うなど懇親を深めるなど終始、穏やかな雰囲気の中進行し、盛会の内に滞りなく終了した。

兵庫地本記念行事

11月23日、神戸北野プラザ六甲荘において、自衛隊兵庫地方協力本部創設59周年記念行事が開催された。

記念行事に先立ち自衛隊兵庫地方協力本部長から兵庫地本の隊務運営に貢献した方に対し感謝状の贈呈が行われた。

兵庫県防衛協会からは、鈴木副会長、田中監事、と青年部会染谷副会長、菊池監事長が受賞した。

その後、祝賀会食が開催され、兵庫地方協力本部本部長より、防衛省自衛隊への協力に対する謝辞があった。

続いて協力団体を代表して兵庫県隊友会熊谷会長の挨拶、兵庫県自衛隊父兄会村上副会長の乾杯の挨拶を行い祝賀会食が和んだ雰囲気であった。

祝賀会食では兵庫地方協力本部長及び他協力団体との懇親が行われ、現在の情勢などを中心に意見交換が行われた。

祝賀会食の終わりに防衛協会を代表して中林常任理事から「我々、協力者が自衛隊の良き理解者

となり、自衛隊を支えるため、力を合わせましょう。」と呼びかけ最後に「万歳三唱」を行った。



中林常任理事による万歳三唱

富士総火演習

8月22日に兵庫県防衛協会は、「平成27年度富士総合火力演習研修」を行った。

研修には、兵庫県防衛協会尼崎支部吉田支部長、青年部会見島会長など総勢34名の会員が参加した。

演習当日、東富士演習場地域は晴天に恵まれ絶好の研修日和となり、参加者の中には早朝から気分が高まっている会員も見られた。

演習は人員約2300名、戦車・装甲車約80両、各種火砲約60門、航空機約20機、その他車両約10両が参加し



迫力ある戦車の射撃

て行われ、約10万人が訪れた。前段は各種装備品の優れた能力を公開する演習となり、後段は、陸・海・空自衛隊統合による作戦により我が国の島嶼部侵攻する敵部隊を洋上及び内陸部において撃破する。というシナリオで行われた。

演習見学は、富士山をバックに真近に見られる迫力ある戦車や火砲の射撃やヘリコプターなどの航空機の展示には、驚きを見せるとともに感激に酔いしれていた。研修を終え会員からは、「天気も良く最高の一日でした。自衛隊のレベルの高さと素晴らしさを実感することができました。」という意見を数多く聞くことができた。

小松航空祭研修

9月20日に兵庫県防衛協会は航空自衛隊小松基地航空祭を研修した。

到着後、恒例の記念撮影を済ませ、ブルーインパルスとの展示飛行を見学するためシャトルバスを利用して基地へ移動した。

航空自衛隊人気の高さ、昨年北陸新幹線の開通で北陸人気も重なり基地は見学者で溢れ大変な賑わいであった。

予定通りブルーインパルスが飛行すると一糸乱れぬハイレベルな演技に観客からは大歓声があがる中、演技はあっという間に終了した。

見学後、参加者は「人が多く大変だったが楽しかったです。」という声がかかった。



到着後の記念撮影

呉基地見学

11月6日、兵庫県防衛協会東播支部は平成27年度支部勉強会として海上自衛隊呉基地の見学を行った。

見学には役員を中心とする11名の会員が参加者した。当日は早朝にそれぞれで出発し、呉駅に集合してから呉基地に入った。

呉基地では、呉地方総監表敬に始まり、輸送艦「しもきた」見学、体験喫食、潜水艦救難艦「ちはや」見学、潜水艦教育訓練隊見学の順に行い午前10時から午後4時まで盛りだくさんの内容であった。各見学場所には呉基



ちはやを熱心に見学する東播支部会員

地広報係の案内で、それぞれの担当者が懇切丁寧の説明していた。また、記念撮影等にも対応して頂いた。一般の見学では普段見ることができない艦艇などに参加者は熱心に見学していた。また、体験喫食では、この日は金曜日であった事から海上自衛隊名物の海自カレーを食する事ができ、食事中も話題が絶えなかった。



呉地方総監部庁舎前で記念撮影

浜松基地航空祭研修

11月8日、兵庫県防衛協会尼崎支部は平成27年度部隊研修として航空自衛隊浜松基地航空祭を研修した。

研修には尼崎支部吉田支部長、青年部会小島会長の他、尼崎会員30名が参加して行われた。

当日は、午前7時に阪神・嵯峨駅に集合し、観光バスで浜松基地に向かった。朝からあいにくの雨模様であり航空祭の開催が心配される中でのバス移動となり、心配の表情を見せる会員も多く見られた。浜松基地に到着すると基地の前で集合写真を撮影し、個々にそれぞれの場所へ移動し見学を行った。



基地の前で記念撮影

青年部会近畿ブロック大会



近畿地区会議

10月3日及び4日で第10回防衛協会近畿ブロック青年部会連絡協議会京都大会が行われ、兵庫県防衛協会青年部会からも20名の会員が参加した。

今回の大会は、初日に京都市内で決起集会及びパネルディスカッションが行われ、2日目には陸上自衛隊福知山駐屯地創立記念行事を研修した。

初日のパネルディスカッションでは京都産業大学の教授と近畿地区青年部会会長経験者との間で安全保障関連の討議の他、今後の青年部会の在り方についてなどを討議した。今後は、「自衛隊の見学などは卒業し、中

を語っていた。中央に直々意見出来るような組織にしないと行けない。」などと語った。

青年部会全国山陰大会

9月11日及び12日に全国防衛協会青年部会研修大会山陰大会が鳥取県米子市で開催された。

今回の大会は初日に決起集会、パネルディスカッションを行った。パネルディスカッションでは、陸・海・空自衛官のそれぞれ1名を招き全国防衛協会青年部会との間で討議を行った。討議では自衛官の現状についての質問等が多数上げられ、本音を語り合える討議となり内容の濃いものとなった。2日目は部隊研修として航空自衛隊高尾山分屯基地の研修を行った。会員は普段



陸・海・空自衛官との討議

青年部会勉強会



兵庫地本島海本部長による講演

12月11日兵庫県防衛協会青年部会勉強会を神戸防災合同庁舎で行った。

今回の勉強会は、自衛隊兵庫地方協力本部島海本部長に講演を依頼し、「日本を取り巻く安全保障環境」を演題に1時間の講演を行った。

講演では、現在の日本を取り巻く環境についての現状をお話しいただいたほか、島海本部長の体験談を交えた講演に当初予定の1時間があつという間に経過し、参加会員は、分りやすい講演に、熱心に耳を傾けた。その後、会員40名

と兵庫地本7名が参加して懇親会が行われ、意見交換の場として終始和んだ雰囲気で行われた。

全国女性部会研修

11月13日に全国防衛協会連合会女性部会全国大会を、兵庫県防衛協会青年部会会長の他、女性会員2名で自衛隊兵庫地方協力本部の支援を受け研修を行った。

今回の研修は、全国女性部会からお誘いもあり、総会及び女性部会長と女性自衛官及び米女性軍人との意見交換会を研修した。参加した女性会員は、「全国の女性部会にはパワーを感じた、女性目線の自衛隊協力もあると感じたので兵庫県も検討の時期にきていると思う。」と語った。

イベント情報

中部方面音楽祭り
平成28年2月27日
第3師団定期演奏会
平成28年2月11日

細部については自衛隊兵庫地方協力本部まで問い合わせ下さい。
078-261-9780

本部協力地方兵庫
だより

自衛官を募集し
ております。
詳しくは自衛隊兵
庫地方協力本部ま
でお問い合わせ下
さい。

TEL : 078-261-8600

大学生に防災体験学習

9月10日(木) 神戸市協浜にある人と防災未来センターにおいて兵庫県立大学が実施する防災講義を支援した。

講義は、座学と実習の2部構成で実施され、座学は涉外広報室の工藤室長が防災講話を、実技は神戸出張所員が人命救助システムを使用した展示訓練と器材操作法の説明を行った。

実習は、倒壊した家屋から要救助者を救助する想定で、捜索から救助者発見、救出までの要領を陸・海・空の迷彩服を着用した所員が本番さながらの迫力ある演技で披露するとともに、使用した器材の操作法の説明を4グループに分かれて実施し、学生達も実際に操作

を体験した。

講義を終えた学生から、防災講話について「災害時の自衛隊の行動が良くわかった。また、自分が何をすべきかについても考えさせられた。」実習については「一見何の変哲も無い棒が簡単に石砕できることに驚いた。」等の感想が聞かれ、大学からは「昨年から支援をお願いしているが、学生から大好評であり今後も継続したい。」とコメントがあった。



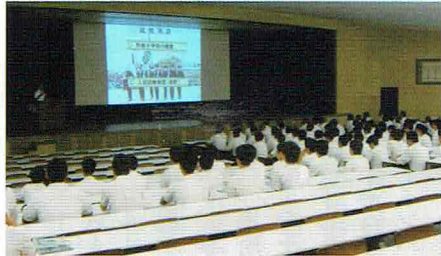
人命救助セットを体験する学生

防大・防医大説明会

9月16日(水) 私立報徳学園高等学校において防大及び防医大の説明会を実施した。

当校からは例年多数の生徒が防大を受験してお

り、合格者も輩出している。今年度は、進路担当教諭から3学年に対する説明だけでなく、受験を希望する2学年も含めた説明会開催の要望を受け、2段階構成で実施した。前段は2、3学年共通で両校の概要説明を、後段は3学年に絞った試験日程等の受験説明が行われ、総勢約130名の生徒が参加した。



説明を受ける高校生

阪神地区合同企業説明会

10月7日、神戸国際展示場(神戸市)で開催された第2回阪神地区合同企業説明会(主催:自衛隊援護協会大阪支部)を担当した。

本説明会は、大阪、兵庫、奈良、和歌山の各府県に再就職を希望する任期満了(退職予定者)の早期の再就職援護を図る

ことが目的で年2回実施されている。

当日は、全国各地から陸・海・空の自衛官159人が参加するとともに、阪神地区所在企業等171社(昨年比12社増)が参加した。

面談時間は3時間で、隊員は1社でも多くの企業と面談をするため、事前に入念に計画を作り、9社の企業と面談を実施する隊員もいた。

兵庫地本では、「一人でも多くの隊員が希望する企業に再就職できるように今後も努力していく。」としている。

退職自衛官の雇用をPR



企業説明会開催会場

11月12日、神戸商工会議所が主催した「人材ニーズ解決フェア」に説



退職自衛官の雇用についての説明

明ブースを設け、(一財)自衛隊援護協会大阪支部に協力し、退職自衛官雇用についてPRを実施した。

このフェアは人材ニーズの解決を支援する団体・企業と人材確保を目的とする企業との相談会で、支援団体・企業が2ブースを設置。人材確保のため訪れた企業は約100社にものぼり、会場内は熱気にあふれていた。

少子化や採用戦線の売り手市場化により、人材獲得競争が激化する中、各社とも人材確保に奔走されており、ブースに訪れた様々な業種の企業採用担当者も退職自衛官の雇用に興味をもたれた様子だった。

小学校で南極の氷講座

10月7日(水) 県北

部に位置する朝来市立山口小学校において、5・6年生を対象に南極の氷体験学習会を実施した。

本学習会は、同校からの要請に基づき実施したもので、地球温暖化が心配されるなか、子供たちの地球環境に対する関心も高く、参加した45名

の児童は皆、真剣にメモを取りながら受講していた。子供たちは、初めて見る南極の氷に目を輝かせ、歓声をあげていた。

参加した児童からは、「はるばる南極からきた氷に触れることができてとても感動した。」などの感想を語った。



南極の氷の空気のはじける音に耳を傾ける小学生

モニター生活体験



匍匐前進を体験する女性モニター

9月18日・19日の2日間、姫路駐屯地の支援を受け、兵庫地本女性モニター及び防衛モニター計13名の生活体験入隊を行った。

着隊早々、迷彩服に着替えたモニターは少し緊張した面持ちであったが、皆やる気に満ちていた。

初日は、史料館や装備品の見学、基本教練、戦闘訓練、格闘訓練の体験課目を行った。2日目は朝5時の非常呼集から、わずかな時間で準備をし、往復約5kmの広峰登山を実施し、疲れた様子も見られたが、引き続き、自衛隊体操、体力検定体験を行い、最後はドーランを塗ってのレンジヤー体験で生活体験入隊を締めくくった。